

FX、JX 図面読み込み時のペンスタイル

FX II では、線種、線幅、色の属性情報をスタイルとして管理できます。

例えば、中心線は、[一点鎖線]、[ペン3]、[白]で設定します。寸法線は、[実線]、[ペン3]、[白]と設定します。中心線コマンドを選択すると、自動的に中心線スタイルが選択され、線の属性情報を選択しなくてもよくなりました。



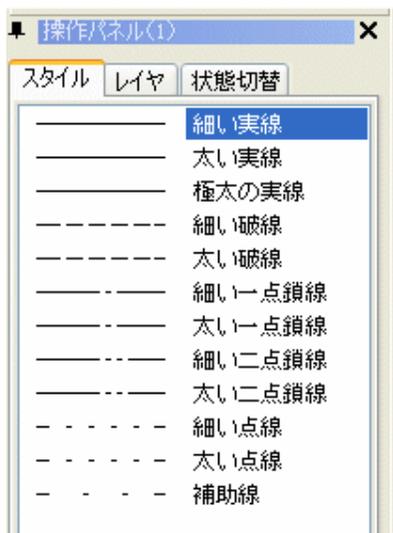
寸法線コマンドを選択するだけで、自動的に寸法線スタイルが選択されます。



作図コマンドを選択すると今まで作図していたペンスタイルに戻ります。



但し、FX データを開いた直後の図面は **FX ペンスタイル(セット)※特殊スタイル**が利用されます。



【FX ペンスタイル(セット)】は、FX の図面に持つ「FX ペン」をスタイルとして利用します。

※FX スタイルは、図面単位となりますので、共通利用することは出来ません。

[ユーザプロパティ設定]の[全般2]ー[スタイル設定(旧形式図面)]において、「FX 図面読み込み時、FX ペンスタイルを利用する」にチェックを付けることで、「FX ペン」を利用することが出来ます。

チェックをつけなかった場合、【システムスタイル】+【ユーザ作成スタイル】で利用されます。

【FX ペンスタイル(セット)】の範囲で作図／編集を行った図面を FX 形式に保存した場合、FX でもそのままご利用いただけます。

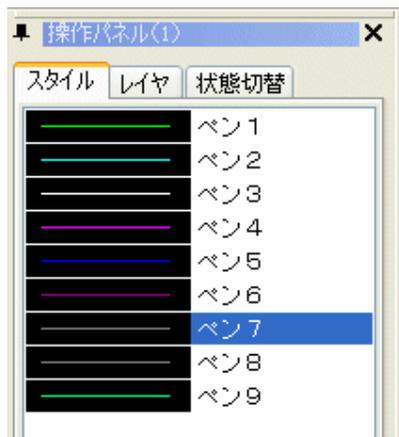
※【FX ペンスタイル(セット)】利用中の図面では、属性の変更、スタイルの削除、入れ替え、表示／非表示切替は出来ません。

スタイル設定機能で、【システムスタイル】の設定変更が可能です。

※ 【システムスタイル】は、スタイルパネルに表示させて利用することは出来ません。

この場合システムで持っている特殊スタイルを利用していますので、一度、FX II のデータ形式保存し、再び FX II データを開きます。FX II データならシステムスタイルもしくはユーザーが作成したスタイルを利用できるようになります。

JX データを開いた直後の図面は **JX ペンスタイル(セット)※特殊スタイル**が利用されます。



【JX ペンスタイル(セット)】は、JX/SX ユーティリティで設定可能な「JX 形式ペン」をスタイルとして利用します。

※【JX ペンスタイル】は、ファイルダイアログー [設定] - [変換パラメータの設定] - [SX/JX ユーティリティ]によって、変更出来ます。

※この場合のスタイル情報は、図面単位となりますので、共通利用することは出来ません。

[ユーザプロパティ設定]の[全般2] - [スタイル設定(旧形式図面)]において、「JX/SX 図面読み込み時、JX ペンスタイルを利用する」にチェックを付けることで、「JX ペン」を利用することが出来ます。

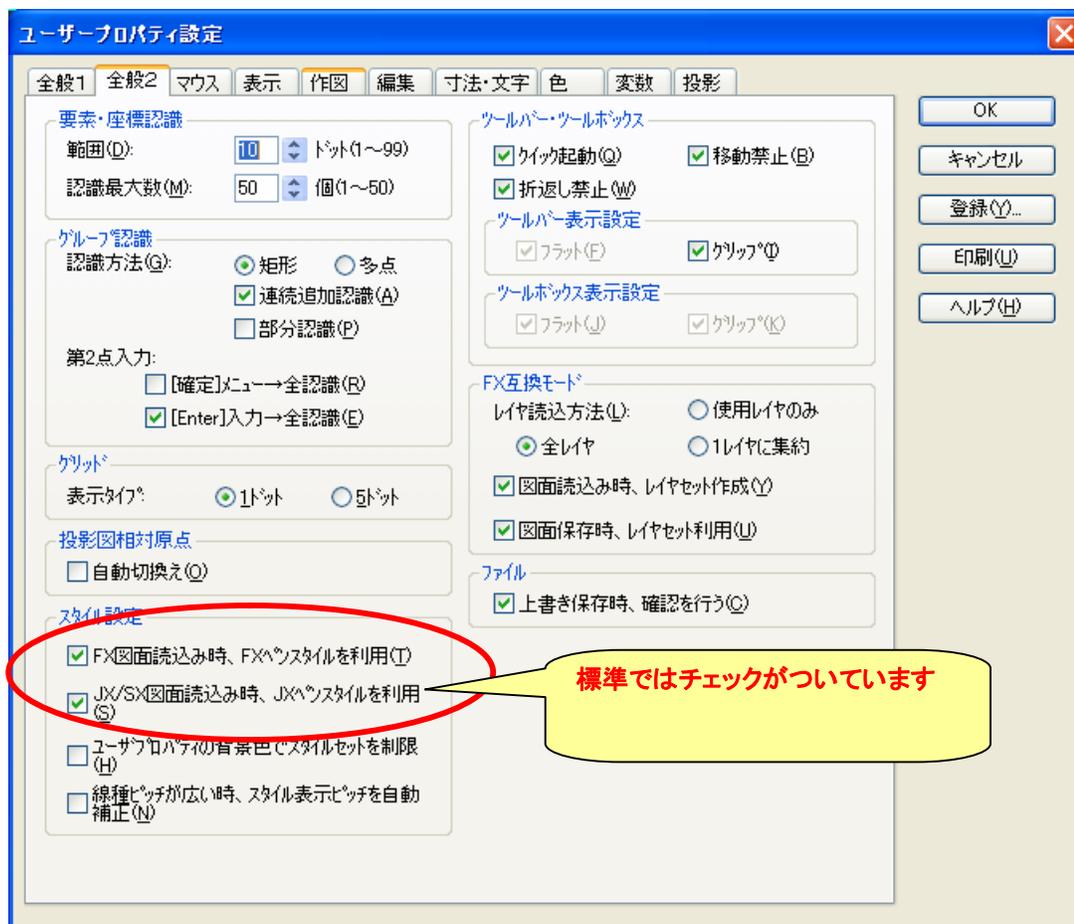
チェックをつけなかった場合、【システムスタイル】+【ユーザ作成スタイル】で利用されます。

【JX ペンスタイル(セット)】を利用することで、JX ライクな属性切替機能を提供します。

※【JX ペンスタイル(セット)】利用中の図面では、属性の変更、スタイルの削除、入れ替え、表示/非表示切替は出来ません。

スタイル設定機能で、【システムスタイル】の設定変更が可能です。

※ 【システムスタイル】は、スタイルパネルに表示させて利用することは出来ません。



チェックを外しますとこのようになります。

【システムスタイル】+【ユーザ作成スタイル】で利用されます。

FX II で利用していた、システムスタイルもしくは、ユーザーが作成したスタイルを利用できます。

